

- ◆日程 2016年12月10日(土)
- ◆メンバー L：小林、雫
- ◆天候 快晴、午前中風強く寒い

直前の例会での山行発表、複数の方が「行きたいが予定を入れてしまった、残念！」との事だった。参加頂いたのは雫さん、笹子駅で合流し早速歩き出す。20号を疾走するダンプに圧倒され林道へのショートカットに入る。神社の先は大きな堰堤が出来て道が変わってしまった。一時間強の歩き、山梨変電所の手前で都留への林道に入る。持参の地図で2回、沢筋を回り込み尾根に取り付く、と理解していた。早速その尾根に取り付く。下部は植林の下枝が



少々うるさい。送電塔に出た。ここからは東電巡視路である程度、整備されている。山頂を目指して登る。寒い。時々風が吹いて来てさらに寒い。体調万全でなくどこか力が入らない。等々、頭の中を駆け巡る。

コンパスで方向を確認し方角よし。でも、でも最初の目標の1245m標高点の肩が一向に出てこない。更に地図の等高線感覚より傾斜が強まる。「おかしい、変だ、止まって確認しようか、でも雫さんは先に行っちゃっている。止まるともっと寒い。ザックを下ろすのも面倒だ。尾根の方向は変ではない。まあ尾根に出れば解る事」と頭の中で反芻しながら登った。

1500m でなだらかになり登山道に出た。ここでやっと理解が出来た。私の昭和52年測量の2.5万図と現在は林道の分岐位置が変わっていた。2本目の回り込みの尾根は実際には更に奥の1541m標高点にでる尾根、これを登ってしまったのだ。

解ったところで本社ヶ丸の山頂を目指して南西方向に登山道を歩く。標高差80m程を登れば本社ヶ丸山頂と思ったら山頂が無い！どうも違う。「ありゃ～山頂は何処へ行った、ここは何処、私は誰？笹子から歩いたし、変電所で左にはいり、尾根を登って、はあ、」頭の中は混乱の極み。「左に曲がった先まで行って確認しましょう」と更に先を確認にいった。

「あった！ああ良かった」本社ヶ丸、眺望秀逸の岩峰はさらに先にあった。2.5万図を読めば解る事だ、ぱっと見で山頂位置をボーッと見るだけ、理解していなかったのである。

山頂から360度の展望、近くは三つ峠山、富士山、大菩薩、奥秩父と、遠くに南アの北岳から聖岳まで鎮座し待っていてくれた。ここでゆっくりしたいが7-8人程の賑やかなお喋りに閉口し記念撮影だけで早々に立ち去った。ここまでノンストップ、口に何も入れてなく欠食児童は早く飯にしたかった。風もなく暖かく、且つ静かな場所を求めて戻っていった。1541m標高点の先で条件に叶った場所を見出し昼食タイム。

血糖値も戻ったところで腰を上げ、次の目標の鶴ヶ鳥屋山を目指して道志や大菩薩から奥秩

父の山々を愛でながら登山道を楽しく歩く。山頂を後に下山の北尾根に入っていく。

登りの失敗があるので今度は慎重に地図を読むようにした。800mの送電塔から北西の急な坂を下り船橋沢を渡り無事、登山道の林道にでた。笹一酒造の上を通り笹子駅に戻った。体調も良いとは言えない事もあり、大人しく帰宅した。

CT : 笹子駅 7:45 - 尾根取付き 9:00 - 本社ヶ丸 10:00/10:10 - 1541m 東の肩
11:25/12:00 - 鶴ヶ鳥屋山 13:25/13:45 - 登山道 15:08 - 笹子駅 15:20

(記 : こばやし)

